

施策 No.43 防犯体制の充実										基本計画 掲載頁	120～122
総合評価	B：順調に進捗した	今後の 方向性	I：現状のまま 継続	施策展開の評価数		A	0	B	8	C	0
				(参考)事務事業評価の実施状況		A	0	B	1	C	0
成果	自主防犯パトロール団体に対し防犯資機材の貸与を行っているほか、新座市防犯・暴力排除推進協議会と連携し防犯キャンペーンの実施や、町内会等に対する防犯灯設置費及び管理費補助金を通して防犯対策を推進した。特殊詐欺防止を目的とした出前講座やチラシの配布、特殊詐欺防止機能付きの電話機を購入した人への補助金の交付を行い、防犯意識の向上を図った。			成果・課題を 踏まえた今後 の対応方針	自主防犯パトロールの拡大を図るとともに、今後も引き続き、新座警察署を始めとする関係機関との連携などにより、防犯体制を一層強化していく。						
課題	高齢化等による自主防犯パトロール団体の減少が危惧されるが、自主的な防犯活動をより一層促していく取組が必要である。										

主な施策展開の進捗状況（定性的な評価）

【評価の基準】 A：想定以上に進捗した B：順調に進捗した C：進捗が遅れた

(1) 防犯意識の高揚		評価	主な取組実績・評価理由（※評価「C」とした場合、課題とその対応方針も記載）	所管課
1	市民一人一人の防犯意識の高揚を図るため、新たな犯罪の特性に応じた内容に見直ししながら、啓発活動を実施します。	B	・市ホームページに犯罪発生状況を掲載し、犯罪が発生した地域の町内会と連携し注意喚起を行った。 また、新座警察署と連携し、犯罪抑止キャンペーンを行った。	危機管理室
(2) 防犯体制の整備		評価	主な取組実績・評価理由（※評価「C」とした場合、課題とその対応方針も記載）	所管課
2	警察署と連携して不審者情報・犯罪情報を把握し、学校・防犯関係団体などへ速やかに情報提供を行い、地域の防犯体制の充実を図ります。	B	・市ホームページに毎月の犯罪発生状況を掲載したり、犯罪が発生した地域の町内会と連携し注意喚起を行ったりした。	危機管理室
3	防犯パトロールなど、市民及び事業者による自主的な防犯活動を促すため、防犯資機材の貸与など、防犯関係団体の活動の支援を行います。	B	・自主的な防犯活動を促すため、自主防犯パトロール団体に対し防犯資機材の貸与を行ったが、自主防犯パトロール団体は高齢化等により減少傾向にあるため、K P I 達成度はCとした。 ・新座市防犯・暴力排除推進協議会と連携し防犯キャンペーンを実施した。 ・「わんわんパトロール」は、啓発を強化したことにより登録者が145名に増加した。	危機管理室
4	高齢者を狙った振り込め詐欺の対策を強化します。	B	・市内高齢者向けに出前講座を開催し、特殊詐欺防止のための啓発を行った。 ・配食サービス事業者を通して、高齢者に向けた特殊詐欺防止啓発チラシの配布を行った。 ・特殊詐欺防止機能付電話機を購入した世帯に対し、補助金を交付した。（補助件数：459件 補助金額：5,996,000円）	産業振興課
5	道路照明灯の設置など、防犯対策を推進します。	B	・新座駅及び志木駅に設置されている防犯カメラの管理を行った。 ・防犯カメラ設置に関する相談体制を設けた。	危機管理室
		B	・防犯灯の設置・管理を行う町内会等に対し、補助金を交付した。 60町内会：5,791,220円（令和6年度）	地域活動推進課
		B	・道路照明灯を18基新設した。	道路管理課
(3) 犯罪被害者への支援		評価	主な取組実績・評価理由（※評価「C」とした場合、課題とその対応方針も記載）	所管課
6	犯罪被害者支援のための施策を推進し、市民への周知を図ります。	B	・市ホームページに犯罪被害者等支援に関するページを作成し、周知を行った。 ・犯罪被害者週間（11月25日～12月1日）に街頭キャンペーンを行った。	危機管理室

施策のK P I（重要業績評価指標）

【達成度の基準】 A：目標を上回るペースの指標値 B：目標値を達成するペースの指標値 C：目標を下回る指標値

項目	現状値 (策定時点)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標値	令和6年度時点 達成度	所管課
自主防犯パトロールを実施する団体数	78団体	78団体	78団体				91団体	C	危機管理室